

科目名	経済学Ⅱ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

## 【授業概要】

授業目的	この講座では、経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生じる様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を習得することを目的とする。 中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎の習得を目的とする。		
到達目標	現代社会で生じる様々な経済現象にアプローチするための基礎的知識を習得するとともに、ミクロ・マクロ経済学や財政学、公共経済学、国際経済学といった発展科目の理解を深めるのに役立つ初級の経済理論の習得を目標とする。		
履修条件	なし		
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配付する。 スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。		
準備学習	毎回事前に教科書の当該箇所を読んでおくことは必須のことであるが、経済問題にも随時触れ経済現象に興味をもつようにする。 毎回授業終了後は要約を通して授業でやったことを再確認する。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	定期試験	80%	筆記試験は経済学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された基本的な項目・事項について理解すること。
	平常評価	20%	授業に毎回出席することは学習の基本である。したがって、受講態度とともに出席率も平常評価に加える。
教科書	山口正春・楠谷清編著『経済学入門（Next教科書シリーズ）』：弘文堂		
参考書	授業中に適宜、紹介する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取る） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp		

## 【授業区分】

区分	授業内容
1	講義計画・成績評価の方法・参考文献の紹介 第6章 国民所得の概念 第7章 均衡国民所得の決定
2	第8章 貨幣と金融 1. 貨幣とは 2. 貨幣の供給と需要
3	3. 金融とは 4. 金融機関と金融市場
4	第9章 IS-LM分析と財政・金融政策 1. IS-LM分析の意義 2. 財市場の均衡を表すIS曲線 3. 貨幣市場の均衡を表すLM曲線
5	4. 財市場と貨幣市場の同時均衡 5. 財政・金融政策 6. IS-LM分析による財政・金融政策の効果
6	第10章 財政学の基礎 1. 政府の経済活動 2. 財政
7	3. 日本の財政問題
8	第11章 公共経済学の基礎 1. 公共経済学とは何か 2. 市場の機能と失敗
9	3. 公共財の供給 4. 外部性 (5. 自然独占)
10	第12章 日本経済論 1. 日本経済の歩み 2. 日本経済の構造
11	3. 日本経済のターニングポイント 4. 日本の経済改革とその現状
12	第13章 国際経済学入門

## シラバス

	1. 国際貿易の基礎理論
13	2. 外国為替制度と国際収支の構造
14	3. オープンマクロと経済政策
15	講義のまとめ